

12/16 名高吹奏楽部が
全国大会の結果報告



加藤市長と東市議会議長が名寄高校を訪問、同校吹奏楽部より日本管楽合奏コンテスト全国大会で「優秀賞」および「フォトライフ賞(特別賞)」の受賞報告を受けました。

報告会では、全国大会で披露した「組曲 虫」を演奏。

12/14 風連幼稚園で
名寄市立大学生がSDGs教育



年中クラスの園児16人を対象に、名寄市立大学の学生がSDGsをテーマに、「クイズ」とリサイクルや分別のマークを教室内から探す「マークさがし」を通じて環境教育を実施しました。

クラスを担当したのは、社会保育学科2年の尾崎さんと瀬田さん。

12/21 名寄小学校で
ふるさと未来トーク



各学校の児童・生徒がテーマに沿って市長・教育長と懇談するふるさと未来トーク。名小3年生の児童たちが、「私たちはミニもち大使！」をテーマに名寄市のもち米について調査し報告。

「もちつき」などの4つジャンルにまとめた動画を制作して報告。

12/17 名寄ピヤシリジャンプ大会兼
北海道新聞社杯ジャンプ大会



名寄ピヤシリジャンツェで開催され、男子104人、女子35人も選手がエントリー。選手のアーチ合戦を繰り広げられ、風切音と着地の衝撃音が鳴り響き、観客たちを魅了していました。

天候は雲がかかり風速約4mの中、選手たちが大空を舞いました。

12/22 なよろ健康レシピ
開発プロジェクト第2弾



駅前交流プラザ「よーな」で発表。今回は主にアスリートの方々をターゲットにレシピを開発。大会や合宿などで訪れるアスリートに提供し、サンプラー温泉のレストランでも提供する予定。

発表会ではレシピの1つ「野菜たっぷりシチュー」を試食、大好評。

12/21 西小学校6年生が
マイドリームプラン学習



将来の夢を考えるきっかけとして、市内で働く人たちを講師に招き、仕事の概要や今の仕事をはじめた経緯などを講演。講演後は児童たちが講師に多くの質問を投げかけました。

市内の警察官・消防士・看護師・教師・農家・銀行員の方々が講演。

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。



ホームページのほかにも市公式フェイスブックや市公式LINE(1月18日現在、友だち登録者1万3917人のLINEVROOMでもまちの出来事を紹介しています。

1/5

市民新年交礼会



市内ホテルで開催され、市関連の団体長などおよそ170人が出席。加藤市長は「今年は本格的にアフターコロナとなる。皆さまにお力を借りて協働のまちづくりを進めていく」とあいさつ。

名寄駐屯地の朝北太鼓生演奏も行われました。

12/24~25

クロスカントリー名寄大会



なよろ健康の森で開催。24日は中学生の部が行われ、本市からは矢野雅治選手(名寄中2年)が出場。選手たちは雪をかき分け雪原を疾走していました。25日は一般・高校の部が開催。

24日は118人、25日は358人の選手がエントリーしました。

1/14~15

Nayoroでプチカナダ留学



14~15日の2日間、naniroBASE&Lab.で開催。宝探しや伝言ゲームを行い、英語で伝えられない時にはジェスチャーを交えたりと、参加者は英語でのコミュニケーションを楽しんでいました。

英語漬けの2日間、英語に慣れ親しみ積極的にすることが目的。

1/11

なよろ雪質日本一フェスティバル支援開始式



2月10~12日に南広場で開催されるなよろ雪質日本一フェスティバルに向け、大雪像や巨大すべり台の製作などを始める支援開始式が行われ、駐屯地隊員が1日50人規模で製作を進めます。

「極寒焼肉フェス」「5色綱引き」などのイベントも盛りたくさん。

1/8

名寄市二十歳を祝う会

エンレイホールを会場に令和5年名寄市二十歳を祝う会が執り行われ、今年度20歳を迎えた182人が参加。参加者たちは、久々に再会した友人たちと思い出話に花を咲かせ、フォトブースで記念写真を撮影したりと楽しんでいるようでした。

式典では、3年ぶりに家族席が設けられ多くの家族も式典に参加。二十歳代表として三浦祥平さんが「いままで身につけた知識をいかし社会に貢献し、常に挑戦を続け、感謝する側からされる側になる」と誓いの言葉を宣言しました。式典の後は、恩師からのビデオレターがステージで放映され、参加者からは大きな歓声があがりました。



当日の天候は、二十歳を祝うかのような快晴でした。